



SDP 透過性プロファイルの設定

- [SDP 透過性プロファイルの概要 \(1 ページ\)](#)
- [SDP 透過性プロファイルの制限 \(1 ページ\)](#)
- [SDP 透過性プロファイルの前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [SDP 透過性プロファイルの設定 \(2 ページ\)](#)

SDP 透過性プロファイルの概要

SDP 透過性プロファイルには、宣言的な SDP 属性のルールのセットが含まれており、これによりシステムは、Unified Communications Manager によってネイティブにサポートされていない宣言属性を、入口から出口コール区間に渡すことができます。SDP 透過性プロファイルがないと、Unified Communications Manager は、サポートされていない SDP 属性を削除します。

複数のルールを使用して SDP 透過性プロファイルを設定し、SIP プロファイルを介して SIP デバイスに適用することができます。SDP 透過性プロファイルを適用するには、両方のコールレグが SIP である必要があります。次のタイプの SDP 属性ルールを設定できます。

- [プロパティ (Property)]: プロパティ属性にルールが設定されている場合、属性に値が設定されていない限り、Unified Communications Manager は SDP 属性をパススルーします。
- 任意の値: ルールが任意の値に対して設定されると、値が 1 つ以上の空白以外の文字で構成されている限り、SDP 属性はパススルーされます。
- リストからの値: ルールがこのオプションを使用して設定されると、値が指定された値のいずれかに一致する限り、SDP 属性はパススルーされます。可能な値を 5 個まで設定することができます。

SDP 透過性プロファイルの制限

SDP 透過性プロファイルには次の制限が適用されます。これらの状況のいずれかが出力コールレグに発生すると、Cisco Unified Communications Manager は宣言型 SDP 属性を通過させません。

- パススルーをサポートしていない、1 つ以上のメディアターミネーションポイント (MTPs) またはトラステッドリレーポイントが割り当てられます

- [メディア ターミネーション ポイントが必要 (Media Termination Point Required)] チェックボックスを、SIP トランク用にチェックします
- トランスコーダが使用されます
- RSVP が使用されます
- 入力コール レッグではディレイド オファーが使用されている一方、出力コール レッグではアーリー オファーが使用されている場合。
- メディアの回線は拒否されました (port=0)
- いずれかのコール レッグが、SIP 以外のプロトコルを使用している場合

SDP 透明性プロファイルの前提条件

サードパーティ SIP 製品の導入を計画している場合は、製品がセッション記述プロトコル (SDP) を実装する方法を理解していることを確認してください。

SDP 透過性プロファイルの設定

Cisco Unified Communications Manager がネイティブでサポートしていない宣言型 SDP 属性のルールセットを使用して、カスタマイズされた SDP 透過性プロファイルを設定します。

手順

-
- Step 1** Cisco Unified CM Administration から、[デバイス (Device)] > [デバイス設定 (Device Settings)] > [SDP透過性プロファイル (SDP Transparency Profile)] を選択します。
 - Step 2** [新規追加] をクリックします。
 - Step 3** [名前 (Name)] と [説明 (Description)] を入力します。
 - Step 4** [属性情報 (Attribute Information)] ペインで、パススルーする SDP 属性のルールを作成します。
 - プロパティの属性をパススルーするには、[名前 (Name)] テキストボックスに「a=recvonly」などの属性を入力し、[タイプ (Type)] ドロップダウンリストから [プロパティ (Property)] を選択します。
 - 値属性をパススルーするには、[名前 (Name)] テキストボックスに属性 (たとえば a=rtpmap) を入力し、[タイプ (Type)] ドロップダウン リスト ボックスから [値 (Any Value)] を選択します。
 - 最大 5 個の値のいずれかを指定した値の属性をパススルーするには、[名前 (Name)] フィールドに「a=rtpmap」などの属性を入力し、[タイプ (Type)] ドロップダウン リスト から [任意の値 (Any Value)] を選択します。[結果値 (value)] テキストボックスに、属性の値を入力します。[+] をクリックして、この属性に最大 5 つの値を追加できます。

Step 5 この透過性プロファイル用に追加の SDP 属性を入力できる新しい行を作成するには、[+] をクリックします。

Step 6 [保存 (Save)] をクリックします。

(注) SIP プロファイルを使用するデバイスが SDP 透過性プロファイルを使用するには、このプロファイルを SIP プロファイルに適用する必要があります。
